

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	庁舎施設維持管理事務	担当課	財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>平成2年11月、現在の場所に庁舎が完成し、庁舎施設維持管理事務が始まった。</p>	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>庁舎や付帯設備の維持管理を行い、市民や職員が安全快適に利用できるようにする。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>公有財産の有効活用と適切な管理を行う。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>築28年が経過したことに伴う庁舎及び備品の老朽化により、修繕費等が増加している。</p>	<p>【空調改修工事】 老朽化した空調の改修工事 【スケジュール】 ＜平成31年度・第1四半期＞入札 ＜平成31年度～32年度＞工事着工</p> <p>【風除室設置】 冷暖房の効率向上のため風除室設置の検討 【スケジュール】 ＜平成31年度・第1四半期＞入札 ＜平成31年度・第2四半期＞工事着工</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>適切な設備の更新等により、修繕費の抑制と庁舎施設の長寿命化を図る。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p>■増加 □維持 □削減</p>	<p>空調設備の改修工事を実施するため、コストは増加する。</p>

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の取組（評価、課題への対応）
策定した修繕計画を基に、大規模改修等に掛かる予算を確保する。 平成30年度に庁舎空調設備の実施設計業務を発注する。	予定通り庁舎空調設備の実施設計業務を発注し、平成31年度から改修を行う。 その他小規模な修繕に対応した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
突発的な修繕件数（件）	35.00	18.00	25.00	15.00	15.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	現在は、庁舎設備の不具合等に小規模な修繕で対応しているため、大幅な庁舎施設の機能向上は図られていない。 平成31年度からは、修繕計画に基づき庁舎施設の大規模改修を行っていくことで、庁舎施設の機能向上が期待できる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	策定した修繕計画に基づく大規模改修を行い、庁舎の長寿命化や機能向上を図る。 また、適正な維持管理が行えるよう、修繕計画を随時見直していく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	112,100	94,650	114,399	360,508	481,508
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	234,000	355,000
	その他	5,170	3,657	3,559	3,525	3,525
	一般財源	106,930	90,993	110,840	122,983	122,983
正職員人工数（時間数）		919.00	1,172.00	1,237.00	0.00	0.00
正職員人件費		3,768	4,805	5,164	0	0
トータルコスト		115,868	99,455	119,563	360,508	481,508

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	普通財産維持管理事業	担当課	財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-02 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市が所有する普通財産（主に土地）を維持管理する。	業務委託により未利用地の除草等を行い、適正な維持管理を行う。 売却可能な市有地については、入札等により売却を行い、売却ができない市有地については、賃貸等の有効活用を検討する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
未利用地を適切に管理するとともに、売却や賃貸をすることで、公有財産の有効活用と財源の確保を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
利用計画のない市有地の維持管理費用が嵩んでいる。	<p>【市有地の売却】 売却可能な市有地については売却を行う。 ＜売却予定地＞ ・板戸井1064-1他2筆（約7,000㎡） ・久保ヶ丘四丁目28-24, 25（約500㎡） 【スケジュール】 ＜H30年度・1月＞入札実施 ＜H30年度・3月＞議決・引き渡し</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	<p>【市有地の貸与】 売却ができない市有地については、市民団体等に貸与し、管理費用を削減する。 【スケジュール】 ＜随時＞利用希望に基づき貸与する。</p>
売却可能な市有地については売却を行い、売却ができない市有地については有効な利用方法を検討していく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	1月（予定）に板戸井地区の市有地を売却することにより、維持管理を行う市有地が減少するため、コストが削減される。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
残っている未利用地について、売却の可能性を判断する必要がある。 売却が見込めない土地については管理を必要最低限の経費で行っていく。	板戸井1064-1他2筆の売却を行ったが、久保ヶ丘四丁目28-24, 25は売却ができなかった。 市有地の新たな貸付はなかった。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
貸付面積（㎡）	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00
売却面積（㎡）	387.00	676.36	7,110.00	500.62	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	貸付面積に増減はなかったが、板戸井1064-1他2筆について売却先が決定したことで、維持管理が必要な市有地の面積が減少した。これにより、今後の維持管理費用の減額が見込まれる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	道路用地の残地など、面積の小さな市有地については市民団体へ貸与し、花壇として利用していただくなど、維持管理費の負担が減少するような利用方法を検討していく。 また、今年度に売却先が決定しなかった久保ヶ丘四丁目28-24, 25のほか、百合ヶ丘地内の仮店舗跡地（平成31年度に建物解体予定）やその他に売却可能であると判断した土地については、売却を行っていく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	5,410	14,110	7,124	24,963	4,465
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	5,410	4,591	7,124	1,097	1,097
	一般財源	0	9,519	0	23,866	3,368
正職員人工数（時間数）		231.00	544.00	638.00	0.00	0.00
正職員人件費		947	2,230	2,664	0	0
トータルコスト		6,357	16,340	9,788	24,963	4,465

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	公用車配置事務	担当課	財政課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>これまで部に配置していた公用車について、効率的な配置・管理を行うため、財政課で一元管理することになった。</p>	<p>公用車の状態管理を行う。 また、車両の購入、廃車を行うとともに、安全確保のため任意保険の加入事務を行う。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>公用車の適正な管理を行い、効率的な利活用を進める。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>公有財産の有効活用と適切な管理を行う。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約のみで実際の利用はないということが多々発生している。特に使用頻度が多い課に見受けられる。</li> <li>・原油価格の高騰により、燃料費が増加している。燃費を鑑みると、購入し15年以上経過している車両も多く、また維持費もかさんでいる。</li> </ul>	<p>【予約システム】 車両の予約変更を課内もしくはグループ内の職員であれば可能にする。</p> <p>【スケジュール】 ＜H30年度中＞システム変更 ※H30年第3四半期中にグループ内の職員間で予約変更が可能となる。 引き続き、システム上で管理職に予約変更の権限を持たせられるように調整する。</p> <p>【公用車の再配置・入替】 公用車管理運行要綱に基づき公用車の適正な入替を図る。 使用頻度が多い課に、課配置公用車の導入を検討する。</p> <p>【スケジュール】 ＜通年＞使用頻度・維持費等の統計 ＜H31年度・～第2四半期＞H13年購入のADバン（土浦400す5911）の入替を予定 ＜H31年度・～第4四半期＞統計に基づき公用車の入替計画の策定</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、車両の予約変更が可能なのは予約者のみなので、課内の職員全てに予約変更を可能にし、実態に即した予約を行えるようにすることで、公用車の稼働率を向上させる。</li> <li>・計画的に車両の入替えを行っていく。</li> </ul>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>H31年度においては一元管理の公用車を増減する予定はないため、コストは維持となる。 ただし、H32年度以降は使用頻度等の統計を基に、車両の入替、必要台数の見直し、事務負担の軽減等により、コストの削減方法を検討していく。</p>

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
空車の把握を通して、公用車の稼働率向上を図り、台数の削減や事務の効率化を目指す。	公用車の予約変更をグループ内の職員であれば可能にするなど、システム変更を行い稼働率の向上と効率化を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
一元管理公用車稼働率（日単位）（%）	0.00	59.31	59.74	62.00	66.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	一元管理を引き続き行っていくことにより、問題点を明確にし、稼働率の向上や事務の効率化を目指していく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	使用頻度等の統計を基に、車両の入替、必要台数の見直し、事務負担の軽減等により、コストの削減方法を検討していく。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	4,675	8,419	7,989	10,516	10,516
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	222	0	307	0
	一般財源	4,675	8,197	7,989	10,209	10,516
正職員人工数（時間数）		55.00	1,559.00	194.00	0.00	0.00
正職員人件費		226	6,392	810	0	0
トータルコスト		4,901	14,811	8,799	10,516	10,516

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	大木公共施設改修事業	担当課	財政課	
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間	平成29年度～平成29年度
	施策	適正な行財政運営の推進	種別	任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働	
予算科目コード	01-020104-07 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
反社会的勢力の会合拠点として建築された施設を、反社会的勢力排除のため、平成28年2月に購入した。取得した施設を改修し、展示・貸館施設として有効利用を図ることになった。	7月から設計を進め、11月から2月にトイレ、給湯室、玄関スロープ、駐車場等の改修工事を行い、4月に利用開始を予定している。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
反社会的勢力排除のため平成28年2月に取得した施設を改修し、展示や貸館により市民の相互交流を図り、個性豊かな活力ある地域社会を実現するための拠点施設として活用する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
公共施設として利用するために改修が必要となる施設数	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	31,072	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	31,072	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	31,072	0	0	0

## 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	守谷市民交流館維持管理事業	担当課	財政課	
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間	平成29年度～平成30年度
	施策	適正な行財政運営の推進	種別	任意の事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働	
予算科目コード	01-020104-08 単独	根拠法令・条例等	守谷市民交流館の設置及び管理に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成30年4月の守谷市民交流館開館に伴い、施設の維持管理事業を開始する。	施設運営に伴う光熱費や通信費、消耗品費等の計上を行い、施設管理を委託事業により行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
適切な施設管理を行い、市民の快適な利用を進め健全な運営に努める。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の利用状況（11/5現在） 展示3件（59日間） その他147件（会議10，軽運動109，文化活動22，その他6） 展示の利用が少ない その他利用については増えている</li> <li>施設名の周知 市民交流プラザ（キターレ）と国際交流研修センター（ログハウス）との混同が多いため、施設名の周知が必要 例）問い合わせ電話の取次ぎ間違い タクシーが違う施設を案内した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁面アートの設置 12月 小中学校から完成品納品 2月 パネル化し堀に展示</li> <li>案内板等の設置 11月 電柱広告設置 1月 館名看板設置 3月 案内板設置</li> <li>バス停留所に追加 モコバスが引き続き継続されるようであれば、来年度、都市計画課へ依頼する</li> <li>タクシー事業者への市民交流館の周知 12月以降 適宜実施</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>壁面アートの設置 市民ギャラリーとしての施設周知を図る。</li> <li>案内板等の設置 施設名・場所の周知、及び、施設名の混同を避けるため、交流館ではなく、モリヤガーレ（愛称）をメインにして案内板を作成する。</li> <li>バス停留所に追加 モコバスルートへ加えてもらい、来館しやすくする。</li> <li>タクシー事業者への市民交流館の周知</li> </ul>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	施設に雨漏りが見られ、その改修工事が必要となることから、コストは増加が見込まれる。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
平成30年4月からの開館のため、評価なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁面アートの設置 市民ギャラリーとしての施設周知を図る。</li> <li>案内板等の設置 施設名・場所の周知、及び、施設名の混同を避けるため、交流館ではなく、モリヤガーレ（愛称）をメインにして案内板を作成する。</li> <li>タクシー事業者への市民交流館の周知 パンフレットの送付</li> </ul>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
利用者数（人）	0.00	0.00	3,590.00	3,650.00	3,750.00
展示会件数（件）	0.00	0.00	3.00	4.00	5.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	現在取組中の壁面アート・案内板等の設置（3月末工期）による来年度以降の成果向上を見込む。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成30年度は施設の周知等に係る整備を中心に行ったため、今後は利用率の向上に係る整備を検討する。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	4,864	6,286	0	6,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	169	0	175
	一般財源	0	4,864	6,117	0	5,825
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	424.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,770	0	0
トータルコスト		0	4,864	8,056	0	6,000